

- 大会. 2005. 11. 30-12. 2 (東京).
54. 中村耕三: 変形性関節症の予防治療へのとりくみ: リウマチ財団賛助会講演. 2005. 12. 13 (東京).
 55. 山川聖史, 亀倉暁, 亀井大輔, 竹越唯衣, 村上誠, 工藤一郎, 植松智, 審良静男, 中村耕三, 川口浩: 膜型プロスタグランジン E2 酵素-1 (mPGES-1) の骨・軟骨疾患への関与. 第 10 回プロスタノイド研究会. 2005. 12. 17 (東京医科歯科大学特別講堂, 東京).
 56. 山川聖史, 亀倉暁, 村上誠, 工藤一郎, 植松智, 審良静男, 中村耕三, 川口浩: 膜型プロスタグランジン E2 合成酵素-1 (mPGES-1) の骨折治癒および変形性関節症への関与. 第 19 回日本軟骨代謝学会. 2006. 3. 3-4 (はまぎんホールヴィアマール, 横浜).
 57. 斉藤琢, 池田敏之, 鄭雄一, 中村耕三, 川口浩: S100A1, S100B は SOX9/SOX5/SOX6 (SOX trio) の標的分子であり, 軟骨細胞に作用してその肥大化・石灰化を抑制する. 第 19 回日本軟骨代謝学会. 2006. 3. 3-4 (はまぎんホールヴィアマール, 横浜).
 58. 矢野文子, 大庭伸介, 釘宮典孝, 池田敏之, 緒方直史, 小笠原徹, 中村耕三, 川口浩, 高戸毅, 鄭雄一: 新規軟骨誘導化合物チエノインダゾール誘導体は Sox9 と独立に作用して軟骨分化を促進し肥大化を抑制する. 第 19 回日本軟骨代謝学会. 2006. 3. 3-4 (はまぎんホールヴィアマール, 横浜).
 59. 筑田博隆, 釘宮典孝, 星和人, 池田敏之, 小笠原徹, 河野博隆, 亀倉暁, 土田温子, 横井伯英, 中村耕三, 米田嘉重郎, 鄭雄一, 川口浩: 低身長ラット KMI の原因遺伝子 cGMP-dependent protein kinase II (cGKII) は Sox9 の核内移行を抑制し, 軟骨細胞の肥大分化への分子スイッチとして働く. 第 19 回日本軟骨代謝学会. 2006. 3. 3-4 (はまぎんホールヴィアマール, 横浜).
 60. 川口浩: 骨・関節疾患治療の新展開. 平成 18 年度 群馬慢性疼痛研究会. 2006. 4. 21 (群馬ロイヤルホテル, 群馬).
 61. 川口浩, 亀倉暁, 山田高嗣, 山川聖史, 中村耕三: マウスゲノミクスによる変形性関節症の分子背景の解明 (シンポジウム: 変形性関節症 up-to-date). 第 50 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2006. 4. 23-26 (長崎ブリックホール, 長崎).
 62. 川口浩, 中村耕三: リコンビナントヒト線維芽細胞増殖因子-2 (FGF-2) による骨折治癒促進 (シンポジウム: 骨折治療の新世紀). 第 79 回日本整形外科学会学術集会. 2006. 5. 18-21 (パシフィコ横浜, 神奈川).
 63. 岡敬之, 吉村典子, 川口浩, 中村耕三: 厚生労働省医療施設調査に見る運動器研修の必要性 (パネルディスカッション: 臨床研修制度と整形外科). 第 79 回日本整形外科学会学術集会. 2006. 5. 18-21 (パシフィコ横浜, 神奈川).
 64. 吉村典子, 岡敬之, 川口浩, 中村耕三: 変形性関節症の疫学研究 (シンポジウム: 変形性関節症の病態解明・診断・治療の新世紀). 第 79 回日本整形外科学会学術集会. 2006. 5. 18-21 (パシフィコ横浜, 神奈川).
 65. Moro T, Takatori Y, Ishihara K, Konno T, Takadama H, Yamawaki N, Kyomoto M, Yamamoto M, Karita T, Nakamura K, and Kawaguchi H: Biocompatible MPC polymer grafting prevents aseptic loosening of the artificial hip joints (シンポジウム: Advances in total hip replacement). 第 79 回日本整形外科学会学術集会. 2006. 5. 18-21 (パシフィコ横浜, 神奈川).
 66. Ishiyama N, Moro T, Ohe T, Miura T, Ishihara K, Konno T, Kimura M, Nakamura K, and Kawaguchi H: New treatment for “intrasyvovial-like” tendon healing: biodissociated phospholipid polymer hydrogel prevents adhesion without impairing tendon healing. 第 79 回日本整形外科学会学術集会. 2006. 5. 18-21 (パシフィコ横浜, 神奈川).
 67. 川口浩, 阿久根徹, 緒方直史, 星和人, 篠田裕介, 河村直洋, 山口雅之, 鄭雄一, 門脇孝, 中村耕三: 糖代謝・脂質代謝調節分子による骨代謝制御 (ミニシンポジウム: 骨代謝の神経・内分泌系による調節). 第 24 回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8 (東京ファッションタウン, 東京).
 68. 山田高嗣, 河野博隆, 腰塚裕, 中村耕三, 加藤茂明, 川口浩: 軟骨特異的新規遺伝子 carminerin の機能解析—病的骨化への関与 (ミニシンポジウム: 硬組織疾患とモデル動物). 第 24 回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8 (東京ファッションタウン, 東京).
 69. 釘宮典孝, 中村耕三, 川口浩, 鄭雄一: Bone morphogenetic protein シグナルによる骨形成調節作用 (ミニシンポジウム: 骨芽細胞の分化制御). 第 24 回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8 (東京ファッションタウン, 東京).
 70. 河村直洋, 釘宮典孝, 門脇孝, 中村耕三, 鄭雄一, 川口浩: Akt1 シグナルは FoxO3a,

- Bimの抑制を介して骨芽細胞のアポトーシスを阻害して骨量を維持する(学会奨励賞受賞)(IOF-ANZBMS Travel Award 受賞). 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
71. 川崎洋介、釘宮典孝、筑田博隆、池田敏之、星和人、小笠原徹、亀倉暁、斎藤琢、矢野文子、中村耕三、鄭雄一、川口浩: cGKIIはGSK3 β をリン酸化・不活化することによって軟骨細胞の肥大分化を制御する(優秀演題賞受賞)(IOF-ANZBMS Travel Award 受賞). 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 72. 篠田裕介、緒方直史、真鍋一郎、山田高嗣、釘宮典孝、鄭雄一、中村耕三、川口浩: 転写因子KLF5による軟骨内骨化の制御とそのメカニズム(IOF-ANZBMS Travel Award 受賞). 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 73. 篠田裕介、緒方直史、東川晶郎、中村耕三、鄭雄一、川口浩: 副甲状腺ホルモンの骨形成および骨吸収促進作用の細胞・分子メカニズム(IOF-ANZBMS Travel Award 受賞). 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 74. 池田敏之、斎藤琢、牛田正宏、菅哲徳、矢野文子、中村耕三、川口浩、鄭雄一: p63は軟骨特異的遺伝子の転写を活性化する. 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 75. 池田敏之、斎藤琢、牛田正宏、菅哲徳、矢野文子、中村耕三、川口浩、鄭雄一: SOX6プロモーターには種間高度保存エンハンサー配列が存在する. 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 76. 吉村典子、村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、雑賀明宏、鈴木隆雄、吉田英世、石橋英明、山本精三、川口浩、中村耕三: 一般住民における変形性関節症の有病率とその地域差: Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) プロジェクト. 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 77. 岡敬之、吉村典子、村木重之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、雑賀明宏、川口浩、中村耕三: ビタミンK摂取不足は変形性関節症と相関する: ROAD (research on osteoarthritis against disability) プロジェクト山村部コホートにおける検討 (IOF-ANZBMS Travel Award 受賞). 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 78. 村木重之、吉村典子、岡敬之、馬淵昭彦、鈴木隆雄、吉田英世、石橋英明、山本精三、川口浩、中村耕三: 変形性腰椎症の高位別有病率と腰痛との相関: ROAD (research on osteoarthritis against disability) プロジェクト都市部高齢者コホートにおける検討 (IOF-ANZBMS Travel Award 受賞). 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 79. 村木重之、吉村典子、岡敬之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、雑賀明宏、鈴木隆雄、吉田英世、石橋英明、山本精三、川口浩、中村耕三: 変形性膝関節症の重症度と膝痛との相関: ROAD (research on osteoarthritis against disability) プロジェクト都市部・山村部高齢者コホートにおける検討. 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 80. 星和人、小笠原徹、浅輪幸世、高橋嗣明、鄭雄一、高戸毅、中村耕三、川口浩: 自家軟骨細胞から大量永久軟骨再生のための最適シグナル条件の系統的・網羅的検索. 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 81. 斎藤琢、池田敏之、東川昌郎、鄭雄一、中村耕三、川口浩: Hypoxia-inducible factor (HIF) ファミリー分子HIF2AとARNTは10型コラーゲンの転写・発現を誘導する. 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 82. 井川和代、望月学、西村亮平、杉森理、清水康太郎、鈴木茂樹、大庭伸介、高戸毅、中村耕三、川口浩、佐々木伸雄、鄭雄一: 3次元プリンターを用いたテーラーメイド人工骨の直接造形と移植試験. 第24回日本骨代謝学会. 2006. 7. 6-8(東京ファッションタウン, 東京).
 83. 茂呂徹、高取吉雄、石原一彦、金野智浩、高玉博朗、山脇昇、京本政之、鄭雄一、中村耕三、川口浩: 生体適合性ポリマーと生体の相互作用 - 摩擦粉が骨吸収に与える影響の検討 - (ワークショップ: バイオマテリアルと生体の相互作用). 第27回日本炎症・再生医学学会. 2006. 7. 11-12(京王プラザホテル, 東京).
 84. 川口浩、星和人、中村耕三: FGF-2による骨癒合促進 - 基礎から臨床へ - (シンポジウム: 骨癒合の診断と利用可能な骨癒合促

- 進法). 第32回日本骨折治療学会. 2006. 7. 14-15 (仙台国際センター、宮城).
85. 篠田裕介、緒方直史、東川晶郎、中村耕三、鄭雄一、川口浩: 副甲状腺ホルモンの骨形成および骨吸収促進作用の細胞・分子メカニズム (日本骨代謝学会・日本骨粗鬆症学会ジョイントシンポジウム: 骨粗鬆症基礎研究の過去、現在、未来). 第8回日本骨粗鬆症学会. 2006. 10. 12-14 (京王プラザホテル、東京).
 86. 吉村典子、岡敬之、村木重之、川口浩、中村耕三: 男性骨粗鬆症: 骨折頻度と骨代謝マーカー値 (シンポジウム: 男性骨粗鬆症). 第8回日本骨粗鬆症学会. 2006. 10. 12-14 (京王プラザホテル、東京).
 87. 村木重之、吉村典子、岡敬之、馬淵昭彦、石橋英明、山本精三、川口浩、中村耕三: 大腿骨頸部骨折男性例の生命予後 - 女性例との比較 - (シンポジウム: 男性骨粗鬆症). 第8回日本骨粗鬆症学会. 2006. 10. 12-14 (京王プラザホテル、東京).
 88. 篠田裕介、緒方直史、東川晶郎、中村耕三、鄭雄一、川口浩: 副甲状腺ホルモン(PTH)は分化した骨芽細胞に作用し、骨髄前駆細胞による骨吸収および骨形成を促進する. 第8回日本骨粗鬆症学会. 2006. 10. 12-14 (京王プラザホテル、東京).
 89. 河村直洋、釘宮典孝、門脇孝、中村耕三、鄭雄一、川口浩: Akt1シグナルはFoxO3a、Bimの抑制を介して骨芽細胞のアポトーシスを阻害する. 第8回日本骨粗鬆症学会. 2006. 10. 12-14 (京王プラザホテル、東京).
 90. 吉村典子、岡敬之、村木重之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三: 骨粗鬆症の有病率の推移と発生率の推定. 第8回日本骨粗鬆症学会. 2006. 10. 12-14 (京王プラザホテル、東京).
 91. 吉村典子、村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、雜賀明宏、鈴木隆雄、吉田英世、石橋英明、山本精三、川口浩、中村耕三: 変形性関節症の有病率と患者数の推定: Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) プロジェクト. 第8回日本骨粗鬆症学会. 2006. 10. 12-14 (京王プラザホテル、東京).
 92. 村木重之、吉村典子、岡敬之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、雜賀明宏、鈴木隆雄、吉田英世、石橋英明、山本精三、川口浩、中村耕三: 変形性膝関節症が膝痛へ与える影響 - 都市部と山村部での比較 - : ROAD (research on osteoarthritis against disability) プロジェクト. 第8回日本骨粗鬆症学会. 2006. 10. 12-14 (京王プラザホテル、東京).
 93. 岡敬之、吉村典子、村木重之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、雜賀明宏、川口浩、中村耕三: 変形性膝関節症と経口摂取栄養素との関連: ROAD (research on osteoarthritis against disability) プロジェクト山村部コホートにおける検討. 第8回日本骨粗鬆症学会. 2006. 10. 12-14 (京王プラザホテル、東京).
 94. 川口浩、阿久根徹、緒方直史、川野健一、河野博隆、中村耕三: 老化による骨粗鬆化の分子メカニズム - マウスゲノミクスからのアプローチ -. 第21回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 95. 亀倉暁、川崎洋介、竹田秀、小守壽文、中村耕三、川口浩: Runx2による関節軟骨細胞の病的肥大化が変形性関節症(OA)発症の引き金となる. 第21回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 96. 篠田裕介、緒方直史、山田高嗣、鄭雄一、中村耕三、川口浩: KLF5は骨格の発生・成長における軟骨内骨化の最終段階を制御している転写因子である. 第21回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 97. 川崎洋介、釘宮典孝、筑田博隆、中村耕三、鄭雄一、川口浩: cGKIIはGSK3 β をリン酸化・不活化することによって軟骨細胞の肥大分化を制御する. 第21回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 98. 茂呂徹、高取吉雄、石原一彦、京本政之、中村耕三、川口浩: ナノ表面処理による人工股関節の長寿命化. 第21回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 99. 丸山善治郎、古市達哉、川口浩、中村耕三、小守壽文: Runx2は、骨芽細胞の分化を調節することにより骨の質を決定する. 第21回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 100. 篠田裕介、緒方直史、東川晶郎、中村耕三、鄭雄一、川口浩: PTHのターゲットは分化した骨芽細胞であり、独立したシグナルを介して骨髄前駆細胞による骨吸収および骨形成を促進する. 第21回日本整形外科学会

- 基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
101. 小崎直人、高石官成、堀内圭輔、川口浩、中村耕三、戸山芳昭：変形性関節症および関節リウマチにおける MMP-13 の役割. 第 21 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 102. 吉村典子、岡敬之、村木重之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：都市型および地方型コホートをを用いた中高年者における変形性関節症の有病率とその疫学的特性. 第 21 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 103. 村木重之、吉村典子、岡敬之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：大規模コホートにおける変形性膝関節症の有病率と膝痛への影響. 第 21 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 104. 村木重之、吉村典子、岡敬之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：腰椎椎間別における変形性腰椎症の有病率と腰痛への影響. 第 21 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 105. 菅哲徳、池田敏之、斎藤琢、中村耕三、川口浩、鄭雄一：II 型コラーゲンプロモーターと未分化軟骨細胞株 ATDC5 を用いた軟骨分化蛍光リアルタイムモニタリングシステムの構築. 第 21 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 106. 岡敬之、吉村典子、村木重之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：コンピュータによる変形性膝関節症 X 線画像自動読影システムの開発. 第 21 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 107. 池田敏之、斎藤琢、牛田正宏、中村耕三、川口浩、鄭雄一：SOX6 プロモーターの同定と機能解析. 第 21 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 108. 星和人、鄭雄一、中村耕三、川口浩：永久軟骨を再生させるための軟骨細胞再分化誘導法の検討と作用機序の解明. 第 21 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2006. 10. 19-20 (長崎ブリックホール、長崎).
 109. 星和人、小笠原徹、鄭雄一、川口浩、中村耕三、高戸毅：インプラント型再生軟骨による永久軟骨再生の試み. 東京大学生命科学ネットワークシンポジウム. 2006. 11. 25 (東京大学安田講堂、東京).
 110. 吉村典子、村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：大規模住民コホートによる変形性関節症の有病率の推定：Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) プロジェクト. 東京大学生命科学ネットワークシンポジウム. 2006. 11. 25 (東京大学安田講堂、東京).
 111. 茂呂徹、高取吉雄、山本基、苅田達郎、石原一彦、金野智浩、京本政之、山脇昇、中村耕三、川口浩：生体適合型ポリマーナノグラフトを基盤とした長寿命型人工股関節の開発. 東京大学生命科学ネットワークシンポジウム. 2006. 11. 25 (東京大学安田講堂、東京).
 112. 鄭雄一、川口浩、高戸毅、中村耕三、佐々木伸雄、片岡一則：インテリジェント型運動器インプラントの開発. 東京大学生命科学ネットワークシンポジウム. 2006. 11. 25 (東京大学安田講堂、東京).
 113. 吉村典子、村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：変形性関節症の有病率の推定：Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) プロジェクトより. 日本疫学会. 2007. 1. 26-27 (広島).
 114. 川崎洋介、釘宮典孝、筑田博隆、池田敏之、斎藤琢、矢野文子、東川晶郎、牛田正宏、中村耕三、鄭雄一、川口浩：cGMP-dependent kinase II (cGKII) は glycogen synthase kinase 3 β (GSK3 β) をリン酸化・不活化することによって生体内で軟骨細胞の肥大分化を制御する. 第 20 回日本軟骨代謝学会. 2007. 3. 2-3 (岡山コンベンションセンター、岡山).
 115. 菅哲徳、池田敏之、斎藤琢、中村耕三、鄭雄一、川口浩：軟骨分化蛍光リアルタイムモニタリング細胞株 ATDC5-S2RD5 の樹立と新規軟骨分化誘導因子 SNX19 の同定. 第 20 回日本軟骨代謝学会. 2007. 3. 2-3 (岡山コンベンションセンター、岡山).
 116. 岡敬之、吉村典子、村木重之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、川口浩、中村耕三：変形性膝関節症と食生活習慣との関係：ROAD プロジェクト山村部コホートにおける検討. 第 20 回日本軟骨代謝学会. 2007. 3. 2-3 (岡山コンベンションセンター、岡山).
 117. 吉村典子、村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、

- 延與良夫、吉田宗人、雜賀明宏、鈴木隆雄、吉田英世、石橋英明、山本精三、川口浩、中村耕三：本邦における変形性膝関節症および変形性腰椎症の有病率：Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) プロジェクト。第20回日本軟骨代謝学会。2007. 3. 2-3 (岡山コンベンションセンター、岡山)。
118. 馬淵昭彦、村木重之、岡敬之、吉村典子、川口浩、中村耕三：日本人における変形性膝関節症感受性遺伝子の関連解析。第20回日本軟骨代謝学会。2007. 3. 2-3 (岡山コンベンションセンター、岡山)。
119. 齋藤琢、池田敏之、東川昌郎、矢野文子、鄭雄一、中村耕三、川口浩：Hypoxia-inducible factor (HIF) ファミリー分子 HIF2 α と ARNT は 10 型コラーゲンの転写・発現を誘導する。第20回日本軟骨代謝学会。2007. 3. 2-3 (岡山コンベンションセンター、岡山)。
120. 篠田裕介、緒方直史、真鍋一郎、山田高嗣、釘宮典孝、鄭雄一、永井良三、中村耕三、川口浩：転写因子 KLF5 による軟骨内骨化の制御とそのメカニズム。第20回日本軟骨代謝学会。2007. 3. 2-3 (岡山コンベンションセンター、岡山)。
121. 岡敬之、吉村典子、村木重之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：変形性膝関節症 X 線画像自動読影システムの開発とその信頼性。第20回日本軟骨代謝学会。2007. 3. 2-3 (岡山コンベンションセンター、岡山)。
122. 村木重之、吉村典子、岡敬之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、雜賀明宏、鈴木隆雄、吉田英世、石橋英明、山本精三、川口浩、中村耕三：変形性関節症が痛みに及ぼす影響：ROAD プロジェクト。第20回日本軟骨代謝学会。2007. 3. 2-3 (岡山コンベンションセンター、岡山)。
123. 石山典幸、茂呂徹、大江隆史、三浦俊樹、川口浩：生体適合性ポリマーゲルのニワトリ腱損傷モデルにおける癒着防止効果学会名。第50回日本手の外科学会学術集会。2007. 4. 19-20 (山形国際ホテル、山形)。
124. 延與良夫、吉田宗人、安藤宗治、吉村典子、馬淵昭彦、岡敬之、村木重之、川口浩、中村耕三：腰部脊柱管狭窄の山村地域での発生頻度。第36回日本脊椎脊髄病学会学術集会。2007. 4. 26-27 (金沢、石川)。
125. 高取吉雄、茂呂徹、山本基、苅田達郎、伊藤英也、京本政之、川口浩、中村耕三：人工股関節の耐久性と MPC 処理。第51回日本リウマチ学会総会・学術集会。2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜)。
126. 川口浩：変形性関節症の最近の話題 - OARSI (OsteoArthritis Research Society International) のトピックスから - (instructive Course Lecture)。第51回日本リウマチ学会総会・学術集会。2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜)。
127. 菅哲徳、齋藤琢、中村耕三、川口浩：軟骨分化蛍光リアルタイムモニタリング細胞株 ATDC5-S2RD5 の樹立と新規軟骨分化誘導因子 SNX19 の同定 (優秀演題賞受賞)。第51回日本リウマチ学会総会・学術集会。2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜)。
128. 川崎洋介、釘宮典孝、筑田博隆、齋藤琢、中村耕三、川口浩：cGMP-dependent kinase II (cGKII) は GSK3 β のリン酸化を介して軟骨細胞の肥大分化を制御する。第51回日本リウマチ学会総会・学術集会。2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜)。
129. 星和人、中村耕三、川口浩：永久軟骨を再生させるための軟骨細胞増殖・基質産生培養法の開発とその作用機序。第51回日本リウマチ学会総会・学術集会。2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜)。
130. 齋藤琢、中村耕三、川口浩：Hypoxia-inducible factor (HIF) ファミリー分子 HIF2 α と ARNT は 10 型コラーゲンの転写・発現を誘導する。第51回日本リウマチ学会総会・学術集会。2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜)。
131. 篠田裕介、山田高嗣、釘宮典孝、中村耕三、川口浩：転写因子 KLF5 による軟骨内骨化の制御とそのメカニズム。第51回日本リウマチ学会総会・学術集会。2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜)。
132. 岡敬之、吉村典子、村木重之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：変形性膝関節症 X 線画像自動読影システムの開発とその信頼性。第51回日本リウマチ学会総会・学術集会。2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜)。
133. 村木重之、吉村典子、岡敬之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：変形性膝関節症および変形性腰椎症の痛みへの影響：The Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) Study。第51回日本リウマチ学会総会・学術集会。2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜)。
134. 馬淵昭彦、村木重之、岡敬之、吉村典子、徳永勝士、川口浩、中村耕三：日本人における変形性膝関節症感受性遺伝子の関連解

- 析. 第 51 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜).
135. 吉村典子、村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：都市部、山村部における変形性膝関節症および腰椎症の有病率とその地域差：Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) プロジェクト. 第 51 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜).
136. 岡敬之、吉村典子、村木重之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：変形性膝関節症と食生活習慣との関係：ROAD プロジェクト山村部コホートにおける検討. 第 51 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜).
137. 石山典幸、茂呂徹、中村耕三、川口浩：術後癒着防止効果を有する生体内解離性ゲル. 第 51 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜).
138. Kawaguchi H, Kamekura S, Yamada T, Koshizuka Y, Nakamura K: Molecular basis of osteoarthritis from mouse genetics approach. 第 16 回国際リウマチシンポジウム. 2007. 4. 26-29 (パシフィコ横浜、横浜).
139. 川口浩：マウスジェネティクスからの変形性関節症の分子背景へのアプローチ (シンポジウム：マウスの関節炎モデル). 第 54 回日本実験動物学会総会. 2007. 5. 23-25 (江戸区民ホール、東京).
140. 星地亜都司、竹下克志、川口浩、筑田博隆、原慶宏、中村耕三：コンピュータ支援脊椎手術. 第 80 回日本整形外科学会学術総会. 2007. 5. 24-27 (神戸交際会議場、神戸).
141. 吉村典子、岡敬之、村木重之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：骨粗鬆症と変形性関節症に因果関係は存在するか？ - 美山コホート長期追跡調査から -. 第 80 回日本整形外科学会学術総会. 2007. 5. 24-27 (神戸交際会議場、神戸).
142. 延與良夫、吉田宗人、川上守、安藤宗治、吉村典子、岡敬之、村木重之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：腰部脊柱管狭窄の山村地域での発生頻度：Research on Osteoarthritis against Disability. 第 80 回日本整形外科学会学術総会. 2007. 5. 24-27 (神戸交際会議場、神戸).
143. 川口浩、亀倉暁、山田高嗣、中村耕三：マウスジェネティクスを用いた変形性関節症の分子メカニズムの解明 (パネルディスカッション：OA 研究の現状と治療展望). 第 80 回日本整形外科学会学術総会. 2007. 5. 24-27 (神戸交際会議場、神戸).
144. 竹下克志、星地亜都司、田中太郎、村上元昭、筑田博隆、原慶宏、川口浩、中村耕三：頸胸椎疾患における Simple Walking Test (30 m 歩行テスト) の有用性. 第 80 回日本整形外科学会学術総会. 2007. 5. 24-27 (神戸交際会議場、神戸).
145. 村木重之、吉村典子、岡敬之、馬淵昭彦、山本精三、鈴木隆雄、延與良夫、吉田宗人、川口浩、中村耕三：変形性膝関節症および変形性腰椎症の痛みへの影響：The Research on Osteoarthritis against Disability (ROAD) Study. 第 80 回日本整形外科学会学術総会. 2007. 5. 24-27 (神戸交際会議場、神戸).
146. 茂呂徹、高取吉雄、石原一彦、金野智浩、京本政之、山脇昇、山本基、苅田達郎、中村耕三、川口浩：ポリエチレン表面の MPC グラフト処理による長寿命型人工関節の開発 - 処理密度の制御と耐摩耗効果 -. 第 80 回日本整形外科学会学術総会. 2007. 5. 24-27 (神戸国際会議場、神戸).
147. 川口浩、河村直洋、緒方直史、阿久根徹、山口雅之、星和人、門脇孝、中村耕三：糖代謝と骨代謝に関連する Akt シグナル (シンポジウム：生活習慣病と骨代謝). 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
148. 川口浩、中村耕三：変形性関節症研究の現状と限界 (ミニシンポジウム：変形性関節症 up-to-date). 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
149. 馬淵昭彦、吉村典子、岡敬之、村木重之、川口浩、中村耕三：変形性関節症研究の病因解明・治療標的分子同定のための統合研究：ROAD (Research on Osteoarthritis Against Disability) プロジェクト (ミニシンポジウム：変形性関節症 up-to-date). 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
150. 松田浩一、井上耕一、中村祐輔、中村耕三、川口浩：メカニカルストレスに反応して骨量維持に働く新規遺伝子 Znt5 (Zinc transporter 5) の単離と機能解析. (ミニシンポジウム：メカニカルストレスと骨代謝). 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
151. 岡敬之、村木重之、馬淵昭彦、鈴木隆雄、吉田英世、山本精三、川口浩、中村耕三、吉村典子：単純 X 線画像における変形性膝

- 関節症のコンピュータ支援診断システムの開発 - ROAD (research on osteoarthritis against disability) プロジェクト - (学会奨励賞受賞). 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
152. 池田敏之、川口浩、斎藤琢、菅哲徳、牛田正宏、中村耕三、鄭雄一：新規軟骨分化転写因子 ZFPAC は C/EBP β と協調的に作用して軟骨分化を誘導する (優秀演題賞受賞). 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 153. 池田敏之、川口浩、斎藤琢、矢野文子、菅哲徳、川崎洋介、牛田正宏、平田真、中村耕三、鄭雄一：p63 は軟骨の初期分化から後期分化までを統合的に支配するマスター転写因子である. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 154. 大庭伸介、藤井克則、宮島剛、倉持朗、宮下俊之、織田弘美、中村耕三、高戸毅、川口浩、鄭雄一：Patched1 機能不全による Hedgehog シグナルの活性化は、Runx2 の DNA 結合・転写活性を競合阻害している抑制型 Gli3 産生を低下させることによって骨量を増加させる. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 155. 吉村典子、村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、雑賀明宏、鈴木隆雄、吉田英世、石橋英明、山本精三、川口浩、中村耕三：特性の異なる 3 地域における変形性膝関節症および変形性腰椎症の有病率の検討：Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) プロジェクトより. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 156. 村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、雑賀明宏、川口浩、中村耕三、吉村典子：大規模住民コホートにおける変形性膝関節症および変形性腰椎症の危険因子 - ROAD (research on osteoarthritis against disability) プロジェクト -. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 157. 菅哲徳、池田敏之、斎藤琢、牛田正宏、中村耕三、鄭雄一、川口浩：軟骨分化をリアルタイムにモニタリングする細胞株 ATDC5-S2RD5 の樹立と、これを用いた新規軟骨分化誘導因子 sorting nexin 19 (SNX19) の同定. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 158. 牛田正宏、池田敏之、斎藤琢、菅哲徳、中村耕三、鄭雄一、川口浩：NF- κ B ファミリー分子 RelA は Sox9 の promoter に作用してその発現を誘導する. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 159. 東川晶郎、斎藤琢、亀倉暁、大庭伸介、池田敏之、中村耕三、鄭雄一、川口浩：Runx2 による 10 型コラーゲンの転写メカニズムの解明 - 変形性関節症を誘導する軟骨細胞肥大化の分子ネットワーク -. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 160. 田宮寛之、大庭伸介、斎藤琢、池田敏之、崔齋容、川口浩、鄭雄一：Runx2 P1 promoter は組織特異性の高い領域と基本的転写領域に分けられ、HIF2A は後者の強力な制御因子である. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 161. 緒方直史、篠田裕介、矢野文子、鄭雄一、中村耕三、川口浩：骨芽細胞における G α q シグナルは骨形成抑制に働き、その阻害により PTH の骨同化作用が増強される. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 162. 平田真、釘宮典孝、河村直洋、大庭伸介、中村耕三、川口浩、鄭雄一：GSK-3 β は Runx2 を特定の部位でリン酸化して転写活性を阻害することにより骨芽細胞による骨形成を抑制する. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 163. 太田憲和、高石官成、滝戸二郎、木村徳宏、岡田保典、保田尚孝、川口浩、戸山芳昭：Osteoprotegerin は内軟骨性骨化の開始点における軟骨吸収を抑制的に制御する. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 164. 吉村典子、岡敬之、村木重之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：男性骨粗鬆症の累積発生率と内因性ホルモン値との関連. 第 25 回日本骨代謝学会. 2007. 7. 19-21 (大阪国際会議場、大阪).
 165. Kawaguchi H：Molecular backgrounds of degenerative skeletal disorders from mouse genetics approach. 4th Meeting of Bone Biology Forum. 2007. 8. 24-25 (富士教育研修所、静岡).
 166. 川口浩：変形性関節症. 第 4 回 六甲カンファレンス. 2007. 9. 1-2 (六甲山ホテル、兵庫).
 167. 川口浩：変形性関節症・脊椎症の病因解明・診断・治療の最前線. 和歌山県医師会医学会整形外科部会講演会. 2007. 9. 27 (アパロ

- ーム紀ノ国、和歌山).
168. 川口浩: 変形性関節症研究の新世紀. 第29回山形整形外科セミナー. 2007. 10. 3 (ホテルメトロポリタン山形、山形).
 169. 川口浩: 変形性関節症 up-to-date: その病態解明・診断・治療の最前線 (ランチョンセミナー). 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 170. 河村直洋、釘宮典孝、門脇孝、中村耕三、鄭雄一、川口浩: 骨芽細胞および破骨細胞における Akt1 シグナルによる骨代謝調節. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 171. 岡敬之、村木重之、馬淵昭彦、吉村典子、川口浩、中村耕三: 変形性膝関節症における単純 X 線コンピュータ支援診断システムの開発と各重症度指標の痛みとの相関. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 172. 緒方直史、篠田裕介、矢野文子、鄭雄一、中村耕三、川口浩: $G\alpha q$ シグナルは骨芽細胞において骨形成抑制に働き、その阻害により PTH の骨同化作用が増強される. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 173. 平田真、釘宮典孝、河村直洋、中村耕三、川口浩、鄭雄一: GSK-3 β による骨芽細胞分化の制御とそのメカニズム. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 174. 石山典幸、茂呂徹、三浦俊樹、大江隆史、中村耕三、川口浩: 生体内解離性ポリマーゲルによる腱癒着防止効果. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 175. 菅哲徳、池田敏之、斎藤琢、中村耕三、鄭雄一、川口浩: 関節軟骨再生を目指した Wnt9a, GDF5 プロモーターの機能解析. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 176. 牛田正宏、池田敏之、斎藤琢、菅哲徳、中村耕三、川口浩: NF- κ B ファミリー分子 RelA は Sox9 を転写制御する. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 177. 菅哲徳、池田敏之、斎藤琢、中村耕三、鄭雄一、川口浩: 新規軟骨分化誘導因子 SNX19 の同定と機能解析. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 178. 東川晶郎、斎藤琢、亀倉暁、中村耕三、鄭雄一、川口浩: 軟骨細胞肥大分化によって変形性関節症を誘導する Runx2 の 10 型コラーゲンプロモーターに対する応答領域の同定. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 179. 太田憲和、高石官成、滝戸二郎、池上博泰、川口浩、戸山芳昭: Osteoprotegerin は内軟骨性骨化の開始点における軟骨吸収を抑制的に制御する. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 180. 位高啓史、鄭雄一、川口浩、中村耕三、片岡一則: ナノミセル型遺伝子キャリアの再生医療への応用. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 181. 吉村典子、村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三: 変形性膝関節症および変形性腰椎症の有病率の検討 - Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) プロジェクトより -. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 182. 村木重之、吉村典子、岡敬之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三: 部位による変形性関節症の危険因子の相違 - ROAD (research on osteoarthritis against disability) プロジェクト -. 第25回日本骨代謝学会. 第22回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007. 10. 25-26 (アクトシティ浜松、静岡).
 183. Hiroshi Kawaguchi: Transcriptional regulation of cartilage degeneration during osteoarthritis. The 2007 International Symposium-Workshop on Advanced Bone and Joint Science (ABJS). 2007. 10. 28-31 (Tokyo Medical & Dental University, Tokyo, Japan).
 184. Hiroshi Kawaguchi: Bone and cartilage regeneration by FGF signaling. The 2007 International Symposium-Workshop on Advanced Bone and Joint Science (ABJS). 2007. 10. 28-31 (Tokyo Medical & Dental University, Tokyo, Japan).
 185. 星和人、川口浩、鄭雄一、高戸毅、中村耕三: 関節軟骨再生の現状と展望 (シンポジウム: 骨関節老化の基礎と現状). 第9回日本骨粗鬆症学会. 2007. 11. 14-16 (京王プラザホテル、東京).
 186. 川口浩、阿久根徹、緒方直史、星和人、篠田裕介、河村直洋、山口雅之、鄭雄一、門

- 脇孝、中村耕三：糖代謝・脂質代謝調節因子による骨代謝調節：マウスジェネティクスからのアプローチ（シンポジウム：骨粗鬆症と骨関節疾患の遺伝学）。第9回日本骨粗鬆症学会。2007. 11. 14-16（京王プラザホテル、東京）。
187. 田宮寛之、大庭伸介、斎藤琢、池田敏之、崔齋容、川口浩、鄭雄一：Runx2 P1 promoterは組織特異性の高い領域と基本的転写領域に分けられ、HIF2Aは後者の強力な制御因子である（学術奨励賞受賞）。第9回日本骨粗鬆症学会。2007. 11. 14-16（京王プラザホテル、東京）。
188. 吉村典子、岡敬之、村木重之、馬淵昭彦、川口浩、中村耕三：骨粗鬆症の発生率と骨代謝マーカー、内因性ホルモンとの関連：漁村コホート10年間の追跡（優秀演題賞受賞）。第9回日本骨粗鬆症学会。2007. 11. 14-16（京王プラザホテル、東京）。
189. 村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、延與良夫、吉田宗人、雑賀明宏、川口浩、中村耕三、吉村典子：膝関節および腰椎における変形性関節症の危険因子の相違 - ROAD (research on osteoarthritis against disability) プロジェクト -。第9回日本骨粗鬆症学会。2007. 11. 14-16（京王プラザホテル、東京）。
190. 京本政之、岩崎泰彦、茂呂徹、宮路史明、金野智浩、川口浩、高取吉雄、中村耕三、石原一彦：長寿命人工関節のためのリン脂質グラフトポリマーによる高潤滑性 Co-Cr-Mo合金の創製。第29回日本バイオマテリアル学会。2007. 11. 26-27（千里ライフサイエンスセンター、大阪）。
191. 石山典幸、茂呂徹、三浦俊樹、大江隆史、伊藤祥三、金野智浩、吉河美都奈、大山但、中村耕三、川口浩、石原一彦：生体内解離性リン脂質ポリマーハイドロゲルによる組織癒着防止材の開発。第29回日本バイオマテリアル学会大会。2007. 11. 26-27（千里ライフサイエンスセンター、大阪）。
192. Hiroshi Kawaguchi: Bone and cartilage regeneration by FGF-2 (Luncheon Seminar). TERMIS-AP 2007. 2007. 12. 3-5 (Grand Prince Hotel Akasaka, Tokyo, Japan).
193. 茂呂徹、高取吉雄、石原一彦、京本政之、山本基、荻田達郎、伊藤英也、中村耕三、川口浩：長寿命型人工股関節の開発—生体適合性ポリマーによるポリエチレンライナーのナノ表面処理—（シンポジウム：人工股関節の開発課題とバイオメカニクス）。2007. 12. 7-8. 第34回日本臨床バイオメカニクス学会。（早稲田大学国際会議場、東京）。
194. 京本政之、茂呂徹、宮路史明、上野勝、橋本雅美、川口浩、高取吉雄、中村耕三、石原一彦：高密度生体適合性リン脂質ポリマー表面による長寿命型人工関節。2007. 12. 7-8. 第34回日本臨床バイオメカニクス学会。（早稲田大学国際会議場、東京）。
195. 川口浩：マウスジェネティクスを用いた変形性関節症の分子メカニズムの解明（シンポジウム：骨・軟骨疾患の分子生物学）。第30回日本分子生物学会・第80回日本生化学学会 合同大会 (BMB2007)。2007. 12. 11-15（パシフィコ横浜、神奈川）。
196. 川口浩：変形性関節症研究の世紀。群馬県学術講演会。2007. 12. 15（マーキュリーホテル、群馬）。
197. 川口浩：変形性関節症研究の現状と問題点。第9回創薬ビジョンシンポジウム（日本薬学会 薬学研究ビジョン部会）。2008. 1. 24-25（東京大学鉄門講堂、東京）。
198. 川口浩：糖代謝・脂質代謝シグナルによる骨代謝制御。The 6th Annual Meeting of Japan Conference on Bone & Joint Diseases. 2007. 2. 2（海運クラブ、東京）。
199. 川口浩：変形性関節症：その病因解明、診断、治療の最前線。倉敷関節症セミナー。2008. 2. 7（倉敷国際ホテル、岡山）。
200. 高取吉雄、茂呂徹、山本基、荻田達郎、伊藤英也、斎藤貴志、京本政之、川口浩、中村耕三：耐久性に優れた人工股関節の開発 - ポリエチレンライナーのMPC処理 -。第38回日本人工関節学会。2008. 2. 29-3. 1（沖縄コンベンションセンター、沖縄）。
201. 斎藤琢、池田敏之、中村耕三、鄭雄一、川口浩：S100A1、S100BはSOX trioの標的分子であり、軟骨細胞の後期分化を抑制する（第13回日本軟骨代謝学会賞受賞）。第21回日本軟骨代謝学会。2008. 3. 21-22（京都テルサ、京都）。
202. 菅哲徳、池田敏之、斎藤琢、中村耕三、鄭雄一、川口浩：関節軟骨再生を目指したWNT9A、GDF5プロモーターの機能解析。第21回日本軟骨代謝学会。2008. 3. 21-22（京都テルサ、京都）。
203. 東川晶郎、斎藤琢、亀倉暁、池田敏之、大庭伸介、中村耕三、鄭雄一、川口浩：Runx2による10型コラーゲンの転写メカニズムの解明：変形性関節症を誘導する軟骨細胞肥大化の分子メカニズム。第21回日本軟骨

- 代謝学会. 2008. 3. 21-22 (京都テルサ、京都).
204. 大島寧、秋山達、中村耕三、川口浩、田中栄: Bcl-2 family 分子 Bcl-xL および Bnip3 相互作用による軟骨細胞アポトーシス制御. 第 21 回日本軟骨代謝学会. 2008. 3. 21-22 (京都テルサ、京都).
205. 川口浩、岡敬之、村木重之、阿久根徹、馬淵昭彦、吉村典子、中村耕三: 変形性関節症の疫学研究の現状と問題点: ROAD (Research on Osteoarthritis against Disability) プロジェクト (シンポジウム: 変形性膝関節症のマネージメント - 最新の臨床エビデンスとエキスパートオピニオン -). 第 81 回日本整形外科学会学術総会. 2008. 5. 22-25 (北海道厚生年金会館、北海道).
206. 川口浩、村木重之、岡敬之、阿久根徹、馬淵昭彦、中村耕三、吉村典子: 変形性関節症の大規模臨床統合データベースの構築と、これを用いた観察疫学・ゲノム疫学研究 (シンポジウム: 学術プロジェクト課題の研究成果報告). 第 81 回日本整形外科学会学術総会. 2008. 5. 22-25 (北海道厚生年金会館、北海道).
207. 延與良夫、吉田宗人、吉村典子、村木重之、岡敬之、馬淵昭彦、中村耕三、川口浩: 頸椎症における高位別有病率と頸部痛との関係 - Research on Osteoarthritis against Disability (ROAD) プロジェクト -. 第 81 回日本整形外科学会学術総会. 2008. 5. 22-25 (北海道厚生年金会館、北海道).
208. 茂呂徹、高取吉雄、石原一彦、山本基、苅田達郎、伊藤英也、金野智浩、京本政之、山脇昇、中村耕三、川口浩: 人工股関節のポリエチレンライナーに MPC 処理を加える範囲が摩耗抑制効果に与える影響. 第 81 回日本整形外科学会学術総会. 2008. 5. 22-25 (北海道厚生年金会館、北海道).
209. 福井尚志. 関節軟骨再生の課題. -OA 罹患軟骨の解析結果から-. シンポジウム 関節軟骨の変性と再生機序-再生医療は可能か? 第 51 回日本リウマチ学会総会. 2007 年 4 月、横浜.
210. 福井尚志. 単層培養された関節軟骨細胞の脱分化には少なくとも 2 種のインテグリン・ヘテロダイマーが関与し、それぞれ脱分化の異なる局面を司る. シンポジウム 軟骨の再生. 第 7 回日本再生医療学会総会. 2008 年 3 月、名古屋.
211. 疋田温彦、福井尚志. TNF- α 切断酵素の同定. 第 25 回骨代謝学会. 2007 年 7 月、大阪.
212. 福井尚志、池田泰子、鈴木隆二、疋田温彦、桂川陽三、山本精三. 単層培養された関節軟骨細胞の脱分化には少なくとも 2 種のインテグリンヘテロダイマーが関与する. 第 22 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007 年 10 月、浜松.
213. 疋田温彦、鈴木隆二、當間重人、福井尚志、田中 栄. TNF- α 切断酵素の検索. 第 22 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2007 年 10 月、浜松.
214. 福井尚志、池田泰子、大貫俊之、田中信帆、石田 暁、山根昌治、疋田温彦、桂川陽三、山本精三、宮本恵成、鈴木隆二. ヒト変形性関節症罹患軟骨における anabolic factor の探索. 第 21 回日本軟骨代謝学会. 2008 年 3 月、京都.
215. 片岡一則, ナノバイオテクノロジーが拓く未来医療: ピンポイント診断・治療のためのナノデバイス設計, 第 4 回「東京大学の生命科学」シンポジウム, 安田講堂, 東京大学, 2007. 4. 14
216. 片岡一則, 遺伝子デリバリーのための超分子ナノデバイス設計, 第 23 回日本 DDS 学会, ホテル日航熊本, 熊本, 2007. 6. 15
217. 片岡一則, Polymeric-micellar nanodevice for smart gene vector, 第 13 回日本遺伝子治療学会, 愛知県がんセンター国際医学交流センター, 愛知, 2007. 6. 28, 招待講演
218. Kazunori Kataoka, Smart polymeric micelles as nanocarriers for gene and drug delivery, International Conference on Materials for Advanced Technologies 2007 (ICMAT2007), Singapore, Suntec Singapore International Convention and Exhibition Center, 2007. 7. 2, 基調講演
219. 片岡一則, Light-induced gene and drug delivery by supramolecular nanocarrier, Keio International Symposium on "Photonics and Molecular Therapy", 慶応義塾大学医学部(信濃町), 東京, 2007. 8. 6, 招待講演
220. 片岡一則, Supra-molecular nanodevices for gene and drug delivery ~Challenge to smart molecular therapy~ The 2nd International Workshop on Approaches to Single-Cell Analysis, 早稲田大学国際会議場井深大記念ホール, 東京, 2007. 9. 7, 招待講演

221. 片岡一則, ナノマテリアルによるドラッグデリバリー特別講演会, 国立医薬品食品衛生研究所, 東京, 2007. 9. 12, 招待講演
222. 片岡一則, ナノバイオテクノロジーが拓く未来医療-高分子ナノミセルによる薬物・遺伝子のピンポイントデリバリー-, 第11回 Molecular Cardiovascular Conference, 小樽キロロ, 北海道, 2007. 9. 14, 基調講演
223. 片岡一則, 薬物・遺伝子デリバリーと高分子ゲル-ナノバイオインターフェイスに挑む-, ゲルワークショップ イン 名古屋, KKR ホテル名古屋, 愛知, 2007. 9. 22, 基調講演
224. 片岡一則, ナノ構造デバイスによる標的治療, 第66回日本癌学会学術総会, パシフィコ横浜, 神奈川, 2007. 10. 4
225. 片岡一則, 高分子ミセル型制がん剤の技術開発と臨床展開, 第69回日本血液学会・第49回日本臨床血液学会(合同総会), パシフィコ横浜, 神奈川, 2007. 10. 11
226. 片岡一則, 超分子ナノデバイスによるDDSイノベーション, NEDO 公開シンポジウム「ダブルターゲットングDDS-次世代DDS型治療システム-, 東京女子医大弥生記念講堂, 東京, 2007. 10. 1
227. 片岡一則, ナノバイオテクノロジーが拓く未来医療, 第7回次世代医療システム産業化フォーラム, 大阪商工会議所7階国際会議ホール, 大阪, 2007. 10. 15
228. 片岡一則, 高分子が先導するナノバイオテクノロジー: ピンポイント診断・治療のための高分子ナノデバイス設計, 若手社員のための高分子基礎講座, 横浜ゴム湘南セミナーハウス, 神奈川, 2007. 10. 25
229. 片岡一則, ナノバイオテクノロジーが拓く未来医療, 第48回日本脈管学会総会, 松本ホテルブエナビスタ, 長野, 2007. 10. 26, 教育講演
230. 片岡一則, Novel Supramolecular Nanovector for Non-viral Gene Therapy, 第4回21世紀COE国際シンポジウム, ヒルトン名古屋, 愛知, 2007. 10. 26
231. 片岡一則, ナノバイオマテリアルが拓く未来医療, 本多記念会創立50周年記念事業, 学士会館(神田錦町), 東京, 2007. 11. 16, 一般講演
232. 片岡一則, ナノバイオテクノロジーと高分子の融合による未来医療の開拓, 第25回医用高分子研究会講座, 山上会館大会議室, 東京大学, 2007. 11. 19
233. 片岡一則, ナノバイオ・インテグレーションが拓く未来医療, 第8回ナノ工学セミナー 京都大学桂キャンパス, ローム記念館大ホール, 2007. 11. 21, 特別講演
234. 片岡一則, Supra-Molecular Nanodevices for Gene and Drug Delivery: Challenge to Smart Molecular Therapy, 台湾工業技術研究院との共同シンポジウム, 鉄門記念講堂, 東京大学, 2007. 11. 27
235. 片岡一則, ナノバイオテクノロジーが拓く未来医療-高分子ナノミセルによる薬物・遺伝子のピンポイントデリバリー-, 第49回下野整形懇談会, 宇都宮市東日本ホテル, 栃木, 2007. 11. 2
236. 片岡一則, ナノメディシンが拓く未来医療: ピンポイント診断・治療の実現を目指して, 第133回日本医学会シンポジウム, 日本医師会館大講堂, 東京, 2007. 12. 6
237. 片岡一則, バイオマテリアルが先導する未来医療-高分子ミセル型ナノキャリアによる薬物・遺伝子のピンポイントデリバリー-, 東大-関学シンポジウム, 武田先端知ホール, 東京大学, 2007. 12. 10, 基調講演
238. 片岡一則, 高分子ミセル型超分子ナノデバイスによる薬物・遺伝子デリバリー, 第6回遺伝子治療シンポジウム, 千里阪急ホテル, 大阪, 2008. 2. 1
239. 佐粧孝久, 高齢者の関節鏡, 第56回東日本整形災害外科学会(9/21-22, 軽井沢)
240. 佐粧孝久, MRIを用いた重症度評価法に基づく治療法の選択(第35回日本・リウマチ関節外科学会, 11/9-10 品川)
241. 伊達秀樹, 山田治基, 金治有彦, 中川研二, 早川和恵, 前原一之, 市瀬彦聡, 田島香里, 変形性膝関節症における血清COMP値・HA値の検討. 第80回日本整形外科学会学術集会. 2007
242. 山田治基, 変形性関節症の病態と治療の最前線. 第51回日本リウマチ学会学術集会. 2007
243. 山田治基, 金治有彦, 伊達秀樹, 加藤慎一, 亀井 剛, 田島香里, 鈴木匡史, 大上泰弘, 原田信宏. 変形性関節症の病態における最新の話. 第51回日本リウマチ学会学術集会. 2007
244. 山田治基, 金治有彦, 伊達秀樹, 市瀬彦聡, 加藤慎一. 関節軟骨の変性と再生機序 再生医療は可能か? 関節軟骨の変性とその評価. 第51回日本リウマチ学会学術集会. 2007
245. 山田治基, 変形性関節症 up-to-date 変形

性関節症のマーカー診断. 第25回日本骨代謝学会学術集会. 2007

246. 山田治基. 変形性関節症の病態、評価法、保存療法についての最近の話題. 第56回三重リウマチ膠原病研究会. 2007
247. 山田治基、伊達秀樹. 変形性関節症のマーカー診断. 第25回日本骨代謝学会学術集会. 2007

【海外学会】

1. Moro T, Takatori Y, Ishihara K, Takadama H, Nakamura K, Kawaguchi H: New biocompatible and wear-resistant articulating surface of artificial joints for preventing aseptic loosening. 51st Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (ORS). 2005. 2. 20-23 (Washington D. C., USA)
2. Kondo T, Hozumi T, Seichi A, Nakamura K: Local control by intraoperative radiotherapy for recurrence of metastatic spinal tumors previously treated by external radiotherapy. 9th International ARGOS Symposium (oral presentation). Paris, 2005. 1. 28
3. Moro T, Takatori Y, Ishihara K, Konno T, Nakamura K, Kawaguchi H: Biocompatible polymer grafting inhibits loosening of artificial joint based on macrophage activation. 72nd Annual Meeting of the American Academy of Orthopaedic Surgeons (AAOS). 2005. 2. 23-27 (Washington D. C., USA).
4. Itaka K, Kanayama N, Nishiyama N, Fukushima S, Yamasaki Y, Oba S, Chung UI, Kawaguchi H, Nakamura K, Kataoka K: Intelligent nanocarrier of plasmid DNA for bone regeneration. 51th annual meeting of the Orthopaedic Research Society. 2005. 3. 5-8 (New Orleans, Louisiana, USA).
5. Ishihara K, Moro T, Takatori Y, Kawaguchi H, Nakamura K, Konno T: Biomimetic surface on polyethylene liner for obtaining excellent lubrication. 19th European Conference on Biomaterials. 2005. 9. 11-15 (Sorrento, Italy).
6. Kawamura N, Kugimiya F, Suzuki R, Tobe K, Kadowaki T, Nakamura K, Chung UI, Kawaguchi H: Akt1 in osteoblasts and osteoclasts contributes to the maintenance of bone mass and turnover (Young Investigator Award). 27th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2005. 9. 23-27 (Nashville, Tennessee, USA).
7. Saito T, Ikeda T, Nakamura K, Chung U, Kawaguchi H: S100A1 and S100B, transcriptional target molecules of SOX5, SOX6 and SOX9 (the SOX trio), inhibit hypertrophic differentiation and calcification of chondrocytes (Young Investigator Award). 27th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2005. 9. 23-27 (Nashville, Tennessee, USA).
8. Yamakawa K, Kamekura S, Murakami M, Kudo I, Uematsu S, Akira S, Nakamura K, Kawaguchi H: Contribution of microsomal prostaglandin E synthase-1 (mPGES-1) in fracture healing and osteoarthritis. 27th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2005. 9. 23-27 (Nashville, Tennessee, USA).
9. Ogasawara T, Chikuda H, Ohba S, Chikazu D, Katagiri M, Yano F, Nakamura K, Chung U, Hoshi K, Takato T, Okayama H, Kawaguchi H: Functional switching of Runx2 by Cdk6 and Cdk4 in regulation of osteoblast differentiation. 27th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2005. 9. 23-27 (Nashville, Tennessee, USA).
10. Shinoda Y, Yamaguchi M, Ogata N, Akune T, Kadowaki T, Takeuchi Y, Fukumoto S, Hoshi K, Chung U, Nakamura K, Kawaguchi H: Regulation of bone formation by adiponectin through autocrine/paracrine and endocrine pathways. 27th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2005. 9. 23-27 (Nashville, Tennessee, USA).
11. Hoshi K, Liu G, Ogasawara T, Asawa Y, Chung U, Takato T, Nakamura K, Kawaguchi H: Thyroid hormone (T3) realizes ideal redifferentiation of dedifferentiated chondrocytes in cooperation with BMP-2 and insulin. 27th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2005. 9. 23-27 (Nashville, Tennessee, USA).

12. Yoshimura N, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Cooper C: Comparing risk factors for hip and knee osteoarthritis in Japan and Britain. 27th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2005. 9. 23-27 (Nashville, Tennessee, USA).
13. Kawasaki Y, Kugimiya F, Chikuda H, Ikeda T, Saito T, Yano F, Nakamura K, Chung UI, and Kawaguchi H: cGKII Controls Hypertrophic Differentiation of Chondrocytes through Phosphorylation and Inactivation of GSK-3 β (Young Investigator Award). 28th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2006. 9. 15-19 (Philadelphia, Pennsylvania, USA).
14. Shinoda Y, Ogata N, Manabe I, Kugimiya N, Chung UI, Nagai R, Nakamura K, and Kawaguchi H: Kruppel-like zinc-finger transcription factor 5 (KLF5) contributes to the last stage of endochondral ossification through transcriptional induction of MMP-9. 28th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2006. 9. 15-19 (Philadelphia, Pennsylvania, USA).
15. Shinoda Y, Kawaguchi H, Higashikawa A, Nakamura K, Chung UI, and Ogata N: Intermittent and continuous PTH treatments act on differentiated osteoblasts which induce bone formation and resorption through distinct mechanisms. 28th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2006. 9. 15-19 (Philadelphia, Pennsylvania, USA).
16. Saito T, Ikeda T, Higashikawa A, Chung UI, Nakamura K, and Kawaguchi H: Transcriptional induction of type X collagen by hypoxia-inducible factor (HIF) family members HIF2A and ARNT in chondrocytes. 28th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2006. 9. 15-19 (Philadelphia, Pennsylvania, USA).
17. Ikeda T, Saito T, Ushita M, Yano F, Kan A, Nakamura K, Kawaguchi H, and Chung UI: Identification and characterization of embryonic SOX6 promoter. 28th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2006. 9. 15-19 (Philadelphia, Pennsylvania, USA).
18. Hoshi K, Liu G, Ogasawara T, Asawa Y, Takahashi T, Yamaoka H, Chung UI, Takato T, Nakamura K, and Kawaguchi H: Optimal combination of soluble factors for tissue engineering of permanent cartilage with high quality and quantity from autologous human chondrocytes. 28th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2006. 9. 15-19 (Philadelphia, Pennsylvania, USA).
19. Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Mabuchi A, En-yo Y, Yoshida M, Saiga A, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Yamamoto S, Kawaguchi H, and Nakamura K: Prevalence of osteoarthritis at knee and lumbar spine in urban and rural communities: The Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) study. 28th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2006. 9. 15-19 (Philadelphia, Pennsylvania, USA).
20. Kawasaki Y, Kugimiya F, Chikuda H, Ikeda T, Kamekura S, Yano F, Saito T, Higashikawa A, Ushita M, Nakamura K, Chung UI, and Kawaguchi H: Cyclic GMP-dependent protein kinase II (cGKII) controls hypertrophic differentiation of chondrocytes through phosphorylation and inactivation of GSK-3 β (Outstanding Abstract Award) (Roger Melick Young Investigator Award) (Travel Award). IOF-ANZBMS (3rd IOF Asia-Pacific Regional Conference on Osteoporosis and 16th Annual Meeting of the Australian & New Zealand Bone & Mineral Society) 2006. 10. 22-26 (Port Douglas, Australia).
21. Shinoda Y, Ogata N, Manabe I, Yamada T, Kugimiya F, Chung UI, Nagai R, Nakamura K, and Kawaguchi H: Kruppel-Like Zinc-Finger Transcription Factor 5 (KLF5) Contributes to the last stage of endochondral ossification through transcriptional induction of MMP-9 (Travel Award). IOF-ANZBMS (3rd IOF Asia-Pacific Regional Conference on Osteoporosis and 16th Annual Meeting of the Australian & New Zealand Bone & Mineral Society) 2006. 10. 22-26 (Port

- Douglas, Australia).
22. Kawamura N, Kugimiya F, Tobe K, Kadowaki T, Nakamura K, Chung UI, and Kawaguchi H: Akt1 in Osteoblasts and osteoclasts contributes to the maintenance of bone mass and turnover (Travel Award). IOF-ANZBMS (3rd IOF Asia-Pacific Regional Conference on Osteoporosis and 16th Annual Meeting of the Australian & New Zealand Bone & Mineral Society) 2006. 10. 22-26 (Port Douglas, Australia).
 23. Shinoda Y, Kawaguchi H, Higashikawa A, Nakamura K, Chung UI, and Ogata N: Intermittent and continuous PTH treatments act on differentiated osteoblasts which induce bone formation and resorption through distinct mechanisms. IOF-ANZBMS (3rd IOF Asia-Pacific Regional Conference on Osteoporosis and 16th Annual Meeting of the Australian & New Zealand Bone & Mineral Society) 2006. 10. 22-26 (Port Douglas, Australia).
 24. Oka H, Yoshimura N, Muraki S, Mabuchi A, En-yo Y, Yoshida M, Saiga A, Kawaguchi H, and Nakamura K: Vitamin K intake is lower in knee osteoarthritis patients - A general population-based cohort study - The ROAD project. IOF-ANZBMS (3rd IOF Asia-Pacific Regional Conference on Osteoporosis and 16th Annual Meeting of the Australian & New Zealand Bone & Mineral Society) 2006. 10. 22-26 (Port Douglas, Australia).
 25. Muraki S, Oka H, Mabuchi A, En-yo Y, Yoshida M, Saiga A, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Yamamoto S, Kawaguchi H, Nakamura K, and Yoshimura N: The impact of osteoarthritis on knee pain in urban and rural communities: the Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) study. IOF-ANZBMS (3rd IOF Asia-Pacific Regional Conference on Osteoporosis and 16th Annual Meeting of the Australian & New Zealand Bone & Mineral Society) 2006. 10. 22-26 (Port Douglas, Australia).
 26. Kawaguchi H, Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Mabuchi A, En-yo Y, Yoshida M, Saiga A, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Yamamoto S, and Nakamura K: Prevalence of radiographic osteoarthritis of knee and lumbar spine, and its association with pain: The Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) study. 2006 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2006. 12. 7-10 (Prague, Czech Republic).
 27. Kawaguchi H: Insulin/IRS/Akt signaling for maintenance of bone mass and turnover. (Symposia: Mediators of PTH action). The Endocrine Society's 89th Annual Meeting (ENDO 07). 2007. 6. 2-5 (Toronto, Canada).
 28. Ishiyama N, Moro T, Ohe T, Miura T, Ishihara K, Konno T, Kimura, M, Nakamura, K, and Kawaguchi H: Biodissociatable phospholipid polymer hydrogel prevents tendon adhesion without impairing healing. 62nd Annual Meeting of the American Society for Surgery of the Hand. 2007. 9. 27-29 (Washington State Convention and Trade Center, USA).
 29. Oka H, Yoshimura N, Muraki S, Mabuchi A, Nakamura K, and Kawaguchi H: Full-automatic measurement of knee osteoarthritis parameters by a novel computer-assisted system on standard radiographs. 1st Workshops on Imaging-Based Measures of Osteoarthritis. 2007. 7. 11-14 (Salzburg & Ainning, Germany).
 30. Kyomoto M, Moro T, Miyaji F, Hashimoto M, Kawaguchi H, Takatori Y, Nakamura K, Ishihara K: Nano-scale modification with 2-methacryloyloxyethyl phosphorylcholine polymer brings to ultra-longevity for orthopaedic bearing. 3rd UHMWPE International Meeting. 2007. 9. 14-15 (Madrid, Spain).
 31. Hirata M, Kugimiya F, Kawamura N, Ohba S, Nakamura K, Kawaguchi H, Chung UI: GSK-3 β inhibits osteoblastic bone formation through suppression of Runx2 transcriptional activity by the phosphorylation at a specific site (Young Investigator Award). 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9. 16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 32. Ogata N, Shinoda Y, Yano F, Wettschureck N, Offermanns S, Segre GV, Nakamura K, Kawaguchi H: G α q signaling in

- osteoblasts inhibits bone formation. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
33. Saito T, Ikeda T, Higashikawa A, Kawasaki Y, Kan A, Ushita M, Ohba S, Yano F, Nakamura K, Chung UI, Kawaguchi H: Hypoxia-inducible factor 2 α induces type X collagen and promotes hypertrophic differentiation of chondrocytes. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 34. Kan A, Ikeda T, Saito T, Chung UI, Kawaguchi H: Identification of a novel chondrogenic factor Sorting Nexin 19 using a real-time fluorescence monitoring cell line ATDC5-S2RD5. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 35. Kawamura N, Kugimiya F, Kadowaki T, Nakamura K, Chung UI, Kawaguchi H: Akt1 contributes to maintenance of bone mass and turnover by inhibiting apoptosis of osteoblasts through FoxO3a/Bim axis.
 36. Ushita M, Ikeda T, Saito T, Kan A, Nakamura K, Chung UI, Kawaguchi H: Transcriptional induction of SOX9 by NF- κ B subunit p65 during chondrogenesis. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 37. Higashikawa A, Saito T, Kamekura S, Ohba S, Ikeda T, Nakamura K, Chung UI, Kawaguchi H: Transcriptional regulation of type X collagen by Runx2: Molecular network underlying chondrocyte hypertrophy causing osteoarthritis. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 38. Ota N, Takaishi H, Takito J, Kimura T, Okada Y, Matsuzaki K, Yasuda H, Kawaguchi H, Toyama Y: Osteoprotegerin negatively regulates chondrocyte formation and recruitment in endochondral ossification. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 39. Yano F, Ikeda T, Saito T, Ogata N, Takeda S, Kimura A, Ohba S, Kugimiya F, Nakamura K, Takato T, Kawaguchi H, Chung UI: Runx1, co-activator of Sox5, Sox6 and Sox9 (the Sox trio) regulates chondrogenic differentiation. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 40. Igawa K, Yamamoto K, Ohba S, Ogasawara T, Kugimiya F, Chikazu D, Nakamura K, Kawaguchi H, Takato T, Tomizuka K, Chung UI: Development of novel mini-tetrapod bone fillers. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 41. Ikeda T, Kawaguchi H, Saito T, Kan A, Yano F, Ushita M, Kawasaki Y, Nakamura K, Chung UI: p63 plays a central role in cartilage development by directly regulating key genes for chondrogenesis. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 42. Shimizu S, Asou Y, Itoh S, Chung UI, Kawaguchi H, Shinomiya K, Muneta T: Intra-articular osteoclastogenesis inhibitory factor/osteoprotegerin prevents cartilage degeneration in a murine model of osteoarthritis. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 43. Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Mabuchi A, Kawaguchi H, Nakamura K: Is osteoporosis related to future incidence of osteoarthritis over 10 years, or vice-versa? 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19 (Honolulu, Hawaii, USA).
 44. Muraki S, Yoshimura N, Oka H, Mabuchi A, En-yo Y, Yoshida M, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Yamamoto S, Kawaguchi H, Nakamura K: Prevalence of radiographic osteoarthritis of knee and lumbar spine and its association with pain: The Research on Osteoarthritis Against Disability (ROAD) study. 29th annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. 2007. 9.16-19

- (Honolulu, Hawaii, USA).
45. Kawaguchi H: Cartilage differentiation and osteoarthritis. 19th Annual Meeting of the Korean Society for Molecular Cell Biology (Symposium: Cartilage and Bone). 2007. 10. 18-19 (Seoul, Korea).
 46. Kawaguchi H: Local application of recombinant human fibroblast growth factor-2 on bone repair. The 6th Combined Meeting of the Orthopaedic Research Societies. 2007. 10. 20-24 (Honolulu, Hawaii, USA).
 47. Kawaguchi H: Transcriptional regulation of cartilage degeneration from a mouse OA model (invited lecture). 2007 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2007. 12. 6-9 (Ft. Lauderdale, Florida, USA).
 48. Kan A, Ikeda T, Saito T, Ushita M, Nakamura K, Chung UI, and Kawaguchi H: Identification of sorting nexin 19 as a novel chondrogenic factor by a real-time fluorescence monitoring cell line ATDC5-S2RD5 (Young Investigator Award). 2007 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2007. 12. 6-9 (Ft. Lauderdale, Florida, USA).
 49. Higashikawa A, Saito T, Kamekura S, Ohba S, Ikeda T, Nakamura K, Chung UI, Kawaguchi H: Transcriptional induction of type X collagen expression and hypertrophic differentiation of chondrocytes by Runx2 during osteoarthritis progression (Young Investigator Award). 2007 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2007. 12. 6-9 (Ft. Lauderdale, Florida, USA).
 50. Muraki S, Oka H, Mabuchi A, En-yo Y, Yoshida M, Saiga A, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N: Risk factors for radiographic knee osteoarthritis and lumbar spondylosis: the ROAD study (Young Investigator Award). 2007 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2007. 12. 6-9 (Ft. Lauderdale, Florida, USA).
 51. Oka H, Yoshimura N, Muraki S, Mabuchi A, Nakamura K, and Kawaguchi H: Fully automatic quantification of knee osteoarthritis severity on standard radiographs by a novel computer-assisted system. 2007 World Congress on Osteoarthritis (OARSI). 2007. 12. 6-9 (Ft. Lauderdale, Florida, USA).
 52. Fukui N, Ikeda Y, Ohnuki T, Tanaka N, Ishida S, Yamane S, Mitomi H, Hikita A, Yamamoto S, Katsuragawa Y, Suzuki R. Identification of possible regulatory molecules for chondrocyte anabolism in osteoarthritic cartilage. 2007 World Congress on Osteoarthritis. Ft. Lauderdale, FL, USA. December 2007.
 53. Katsuragawa Y and Fukui N. Change of human menisci in osteoarthritis. 2007 World Congress on Osteoarthritis. Ft. Lauderdale, FL, USA. December 2007.
 54. Hikita A, Suzuki R, Tohma S, Tanaka S, Fukui N. Identification of TNF- α shedding enzyme in macrophages. ASBMR 29th Annual Meeting. Honolulu, HI, USA. September, 2007.
 55. Ochi M: Cartilage regeneration-novel approach. XXV Arthroscopy Spanish association Congress. 2007. 5. 16, Sevilla, Spain.
 56. Ochi M: Emerging Technologies. 6th BIENNIAL ISAKOS CONGRESS. 2007. 5. 30, Florence, Italy.
 57. Ochi M: Tissue Engineering of Cartilage for Clinical Defect. 6th BIENNIAL ISAKOS CONGRESS. 2007. 5. 31, Florence, Italy.
 58. Ochi M: Clinically Related Cartilage Engineering. 6th BIENNIAL ISAKOS CONGRESS. 2007. 5. 31, Florence, Italy.
 59. Ochi M: Emerging technology for cartilage repair. The 1st Stockholm Arthroscopy Conference. 2007. 9. 7, Stockholm, Sweden.
 60. Ochi M: Chondrocyte transplantation, Japanese experience. Finish 2nd Knee Arthroscopy Course. 2007. 9. 10, Tampere, Finland.
 61. Ochi M: Cartilage repair. Clinical results after transplantation of tissue-engineered cartilage and distraction arthroplasty. Annual Fall Congress of the Korean Arthroscopy Association. 2007. 10. 5, Seoul, Korea.
 62. Ochi M: Cartilage repair -Basic research-. Annual Fall Congress of the Korean Arthroscopy Association. 2007. 10. 5, Seoul, Korea.
 63. Ochi M: Tissue engineering for cartilage defects-present status and future

- direction. RCOST Annual Meeting. 2007. 10. 20, Pattaya, Thailand.
64. Ochi M: Cartilage repair. RCOST Annual Meeting. 2007. 10. 21, Pattaya, Thailand.
65. Ochi M: Emerging technology of tissue engineering for cartilage repair. 2008 Annual Meeting of Formosa Association of Regenerative Medicine. 2008. 2. 23, Taipei, Republic of China.
66. Ochi M: How will we treat articular cartilage injuries in athletes in the future? Current trend in Sports Medicine. AAOS 75th Annual Meeting. 2008. 3. 9, San Francisco, U. S. A
67. Kazunori Kataoka, Light-induced Gene and Drug Delivery by Supramolecular Nanocarrier, 3rd Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC2007), Amsterdam RAI, The Netherlands, 2007. 4. 24.
68. Kazunori Kataoka, Engineered Supra-macromolecular Assemblies as Nanocarriers for Gene and Drug Delivery, Ratner Symp: workshop on Polymers in Medicine and Biology, the Sonoma Valley (Hilton Hotel, Santa Rosa, CA), 2007. 6. 19, 2007. 6. 15
69. Kazunori Kataoka, Multimolecular-Assembly of Smart Block Copolymers as Nanocarriers for Gene and Drug Delivery, GelSympto2007, 東京大学, 2007. 8. 7
70. Kazunori Kataoka, Engineered supra-macromolecular assemblies as nanocarriers for gene and drug delivery, The 3rd SBE International Conference on Bioengineering and Nanotechnology (ICBN 2007), Biopolis, Singapore, 2007. 8. 13, 招待講演
71. Kazunori Kataoka, Nanocarriers for Gene and Drug Delivery Advances in Tissue Engineering 2007, 15th Annual Short Course, in Duncan Hall, Rice University, Houston, Texas, 2007. 8. 18
72. Kazunori Kataoka, Supramolecular nanocarriers assembled from block copolymers for gene and drug delivery, Polypeptide and Protein Materials, the 234th ACS National Meeting, Westin Boston Waterfront, Boston, 2007. 8. 21, 招待講演
73. Kazunori Kataoka, Supramolecular assemblies of smart block copolymers for nanomedicine, Xiangshan Science Conference on Functional Supramolecular Systems: Self-assembly and Nanotechnology 2007, FRAGRANT HILL HOTEL in Beijing, 2007. 10. 22, 招待講演
74. Sasho T, Nakagawa K, Nagashima R. Gene Profile Analysis of Subchondral Bone of Osteoarthritic Knee (7th World Congress on Cartilage Repair International Society, 2007. 9. 29-10. 2 ワルシャワ、ポーランド)
75. Sasho T, Ogino S, Nakagawa K, et al. Spontaneous Haemarthrosis of the knee: etiology and treatment. (6th ISAKOS biennial Congress フィレンツェ、イタリア 2007. 5. 27-31)
76. Sasho T, Nakagawa K, Wada Y. Irregularity of condyle on MRI determines the clinical outcome of arthroscopic procedure. (World Congress on osteoarthritis 2007. 12. 5-12. 9, フォートローダレル、USA)
77. Nagashima R, Sasho T, Nakagawa K, t al. Gene expression profiling of human knee osteoarthritic subchondral bone. (54th Orthopaedic Research Society, サンフランシスコ USA)
78. Nakagawa K, Sasho T, Arai M, et al. Effects of autologous platelet-rich plasma on the metabolism of articular chondrocytes in osteoarthritis patients. (54th Orthopaedic Research Society, サンフランシスコ USA)
- H. 知的財産権の出願・登録状況
【国内出願】
特許出願 2005-015280
発明者：中村耕三、川口浩、星和人
脱分化型軟骨細胞の軟骨細胞への再分化培地

特許出願 2005-2439841
組織癒着・関節拘縮防止材
発明者：中村耕三、川口浩、茂呂徹、石原一彦、木村美都奈
権利者：中村耕三、川口浩、茂呂徹、石原一彦、木村美都奈

特許出願：2006-338601
低摩耗性摺動部材及びそれを用いた人工関節
発明者：京本政之、二塚健、石原一彦、金野智浩、中村耕三、高取吉雄、川口浩、茂呂徹、橋

本雅美

出願者：日本メディカルマテリアル株式会社、
石原一彦、金野智浩、中村耕三、高取吉雄、川口造、茂呂徹

出願日：2006. 12. 15

特願 2007-260191

発明者：京本政之、石原一彦、中村耕三、川口造、高取吉雄、茂呂徹

発明の名称：生体適合性および低摩擦性部材及びそれを用いた人工関節並びにその製造方法

出願者：日本メディカルマテリアル株式会社、
国立大学法人東京大学

出願日：2007年10月3日

特願 2007-303389

発明者：茂呂徹、中村耕三、川口造、石山典幸、
石原一彦、金野智浩、科研製薬

発明の名称：組織癒着および関節拘縮防止材

出願者：国立大学法人東京大学、科研製薬

出願日：2007年11月22日

特許出願

培養関節軟骨細胞の表現型維持に関する新規の方法（特許出願中）

発明者：福井尚志

特許出願 2006-54332

片岡一則、山崎裕一、高江誓司
核酸内包高分子ミセル複合体

特許出願 2006-54327

片岡一則、山崎裕一、アルニダ アンワール、
張祐銅、西山伸宏
核酸内包高分子ミセル複合体

【国際出願】

「低摩耗性摺動部材及びそれを用いた人工関節」

出願国：国際出願（出願国未定）

発明者：京本政之、茂呂徹、石原一彦、金野智浩、中村耕三、高取吉雄、川口造、
高玉博朗、近藤誠、山脇昇、二塚健

出願者：日本メディカルマテリアル株式会社、
茂呂徹、石原一彦、金野智浩、

中村耕三、高取吉雄、川口造、高玉博朗

PCT出願：PCT/ JP2007/ 51923

出願日：2007. 2. 5

「生体材料、及びそれを用いた人工関節並びにその製造方法」

出願国：国際出願（出願国未定）

発明者：京本政之、石原一彦、茂呂徹、岩崎泰彦、茂呂徹、中村耕三、高取吉雄、

川口造、金野智浩

出願者：日本メディカルマテリアル株式会社、
国立大学法人東京大学、

国立大学法人東京医科歯科大学

PCT出願：PCT/ JP2007/ 56235

出願日：2007. 3. 6

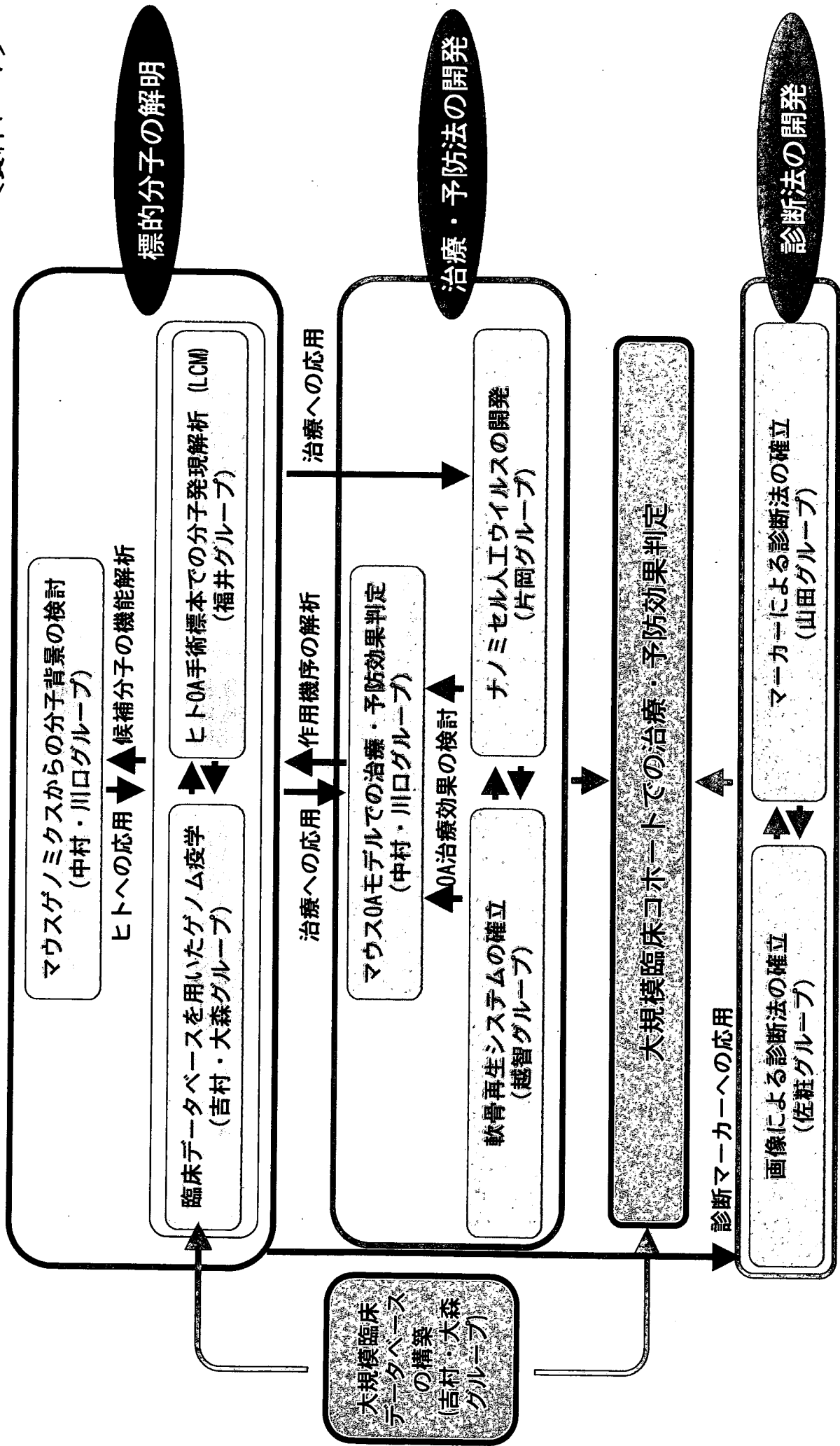


図1. 研究の全体構成

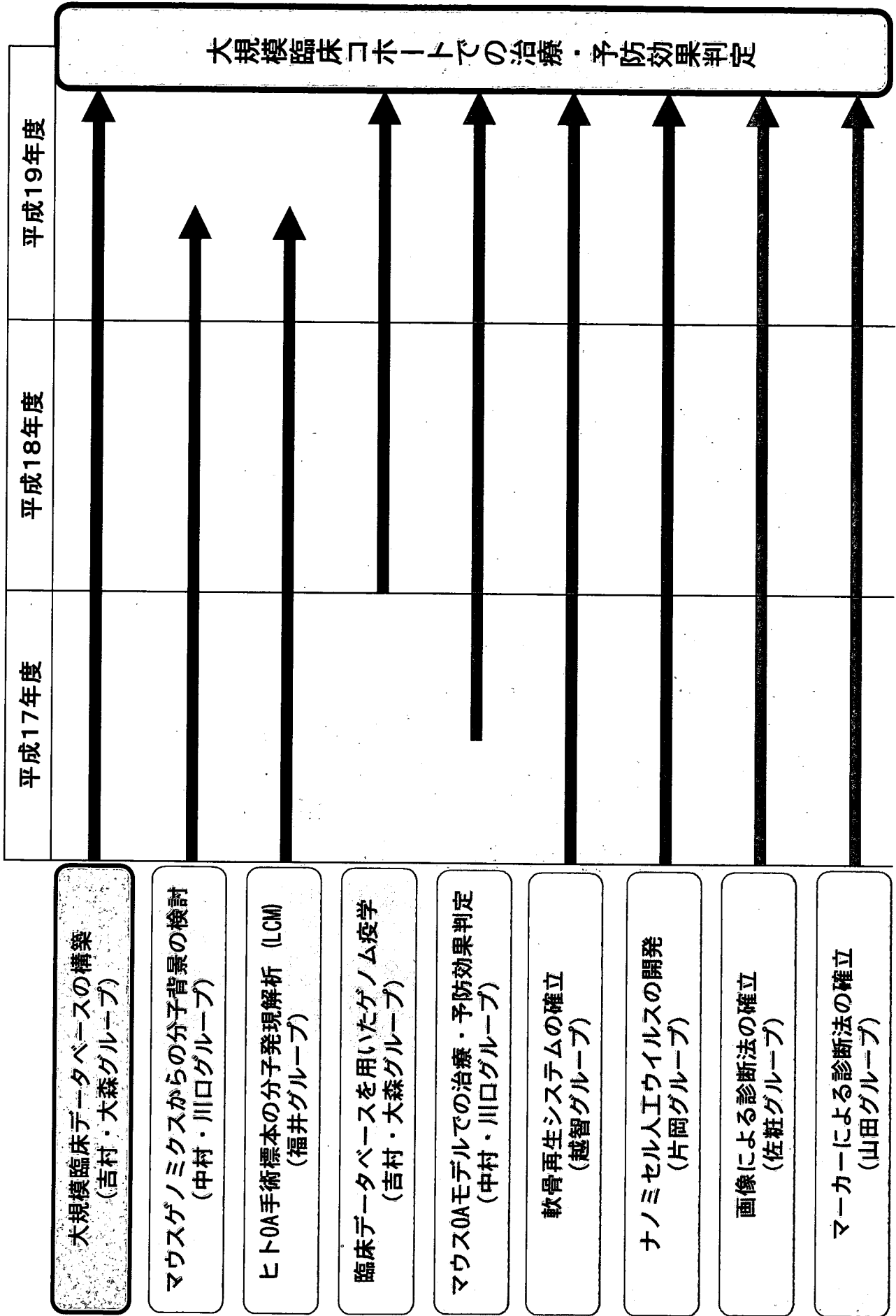


図2. 研究の年次計画